

# サーキット・ライダー 2007年 9月号

## 神の時、人の時

何事にも時があり天の下の出来事にはすべて定められた時がある。生まれる時、死ぬ時、植える時、植えたものを抜く時、殺す時、癒す時、破壊する時、建てる時、泣く時、笑う時、嘆く時、踊る時、石を放つ時、石を集める時、抱擁の時、抱擁を遠ざける時、求める時、失う時、保つ時、放つ時、裂く時、縫う時、黙する時、語る時、愛する時、憎む時、戦いの時、平和の時。

コヘレトの言葉 3 : 1 - 8.

新しいシーズンが始まりました。この夏パークリッジ合同メソジスト教会（英語）では二人の教会員が天に召されました。一人は長年教会の役職にあった74歳のご婦人、もう一人は50歳になって間もないご婦人で教会は深い悲しみのうちに喪に服しました。しかし、たとえどんなに悲しく辛くても日は昇りまた沈み、木々も深い緑から色づいてきて季節の移り変わりを感じさせます。人の世は実にはかないもので。そのことを知った上で私達は生きていかなければならない。

この9月から大学に進学したり留学、就職でそれまで育った家を後にし新しい環境で暮らすことになった若者や、駐在でアメリカに来られた家族、また帰国して新しい地で生活を始めた家族、特に子供たちは、生活環境や学校、職場で不安と希望が交錯していることと思います。子供を送り出した親も心配は尽きないことでしょう。これらの変化の中には永遠ではなくても、しばしの別れもあり、切ない思いになっている方もいられると思います。病気などで一時的に休職し療養に努める方も不安や寂しさを覚えているかもしれません。また今現在これらの状況にいない方でも、いつかは自分自身の旅立ち、別れ、永久の別れ、新しい地への旅立ちを経験します。多くの人はそのことに目を伏せて、まるで自分には関係ないことのように日々暮らしていますが、愛する人との別れや死は避けられない宿命です。私たちは常に、或いはせめて折に触れ、そのことを見つめ、本当に大事なことは何かを知り、今すべきことをし、人を、命をいとおしむべきでしょう。求道中の人はいつまでも迷っていないで神様の召しを受ける。神様はいつまでも待ってくれるなどと考えるのは人間の身勝手な思いです。弟子の派遣（マタイ10：12-15）、ぶどう園の譬話（マタイ21：33-44）、愚かな金持ちの話（ルカ12：3-21）他至るところに、神の救いには時があり、その時は限られていることが書かれています。

コヘレトの言葉は旧約聖書の一書物であり、これまで伝道の書と呼ばれ、言い伝えではソロモン王（紀元前10世紀の人物）の著作と言われてきました。実際に書かれたのは紀元前2世紀頃、作者は不明ですが、恐らくはイスラエルの知恵の書、箴言、預言者の書、歴史に精通した知者が色々な教えをまとめて書き残したというのが今日の定説です。コヘレトとは「集めた」と言う意味です。この書には、人生の栄枯盛衰を自分の目で見、この世の富を手にいれ、快樂、榮耀榮華をすべて経験したという老人の趣があります。空の空（1章2節）で始まり、どんなに富んでいても、人が労苦することは何になろう（3：9）と問いかけ、更に世の中、不公平がまかり通っている（4章）と語っています。2200年以上前の人ですが、かなりのリアリスト（現実主義者）で、その意味では多くの現代人と変わりません。しかし一方では知者の悟りが書かれており、今日を生きる私たちに多くの箴言、金言を与えてくれます。

紀元前2世紀頃と言えば、聖書では空白の時代で、歴史を見ると紀元前333年のアレキサンダー大王の中東、東方大遠征により、イスラエルもその支配下におさめられ、その後、アレキサンダーの流れを汲む、ギリシャ系の支配者、プトレマイオス・エジプトやセレウコス・シリアなどによって支配され、ユダヤ人は被支配者として国もなく辛い日々を送っていました。ユダヤ人は理不尽に差別されたり、迫害を受けていました。一方では民族主義が台頭し紀元前167年に祭司職の家系、マカベア（マカバイ）の反乱によって、マカベア王朝ができる。そんな先行きの見えない不安な時代でした。

そんな暗黒の時代にリアリストの著者が最後に行きついたのは「空」そして「すべてに時がある」だから「青春の日々にこそ、お前の創造者に心を留めよ。苦しみの日々がこないうちに。」（コヘレト12：1）でした。年を重ねて病気になったり、諸々の人生の辛苦を経験する前に、それらから自分を守ってくれる信仰を身に付けよ。「すべてに耳を傾けて得た結論。『神を畏れ、その戒めを守れ。』これこそ、人間の全て。（コヘレト12：13）。どうか皆さんも時を大切に神を受け入れてください。私の父がよく私に「いつまでもあると思うな親と金。」と言ったものですが、これに「時」も加えましょう。 吉松 純

## 礼拝は日曜日午後4時です。Jr. 教会（日曜学校）も4時からです。

9月 2日：礼拝：アメリカ人と合同礼拝、聖餐式。午前10時、組合派教会にて。日本語礼拝お休み

9日：礼拝、Jr.教会、新年度の交わり、秋の収穫祭。

16日：礼拝、Jr.教会、

23日：礼拝、Jr.教会、お話し会。

30日：礼拝、昼12時より。Jr.教会、りんご狩り。礼拝後、午後1時過ぎ出発。

10月 7日：礼拝、聖餐式。Jr.教会。

### 行事予定と報告

- \* 洗礼準備聖書勉強会：毎週日曜日礼拝前の午後3時より。洗礼を受ける決心をしたかた、またまだ迷っている方、何も分からない方、皆歓迎します。
- \* 毎週月曜日、午後7時：ハンドベル聖歌隊（英語）。どなたも、楽器経験のない方も歓迎。教会外の方はレッスン代、手袋代、維持費として月20ドルを頂いています。
- \* 毎週火曜日、午前10時：聖書研究会（英語）。パウロの書簡を学びます。テキスト代は7ドル25セントです。
- \* 毎週木曜日、午後7時：聖歌隊（英語）。英語が苦手でも讚美できます。どなたも歓迎。
- \* 毎週木曜日、午後8時：夕礼拝または聖書の学び（予定）
- \* ユース（中高生会、英語）は第二、第四日曜日の午前9時。現在、日本人中学生、韓国人中学生高校生も英語を話す子たちと一緒に活動しています。どの言語を話す子も歓迎。

### お知らせ：

- \* 上述の通りアメリカ人教会のプログラムが増え、その兼ね合いで牧師館での聖書の学び、フォート・リーの勉強会は休会となります。ご了承ください。
- \* 10月より、アメリカの伝統料理を習うクッキング教室が始まります。毎週木曜日午前10時から12時まで、登録料30ドル。毎週、材料費、光熱費などの実費10ドル。申し込みは英語オフィス（201）391-5499までどうぞ。
- \* 4年間、会員として礼拝に来られていたロバート兄、由美子姉ご夫妻とリアム君、シェーン君、ブランドン君のゴーマンさん一家が8月にヴァージニアに引っ越されました。彼らの新しい生活の上に主の豊かな祝福がありますようお祈りいたします。住所を知りたい方は吉松までご連絡下さい。

### 感謝：

- \* 8月にシェルター島のキャンプ・クイニペットで持たれたサマーキャンプ・プログラム（ユニオン教会、SMJと共催）は実り多いものとなりました。心より感謝いたします。
- \* 去る9月4日（火）に日本語ミニストリー礼拝で奏楽の奉仕をしてくださっている川俣千枝子姉が乳癌の手術を受けられました。手術は大成功で、川俣姉は順調に回復し、翌日5日に退院し、現在自宅で療養 しています。引き続き川俣姉の完治のためお祈りください。また川俣姉の支援献金も受け付けています。お志は下記の寄付と同じあて先UMC-JAとしNoteに川俣さんをご記入下さい。

御協力お願い致します。献金のあて先はUMC-JAとし、寄付のあて先をNoteに記してください。

\*ハーベスト・タイム放映の為、献金、お祈りのご協力をお願いいたします。

\*消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）に送ります。JOCS海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。

\*ケニアの恵まれない子供達やエイズの患者さん為に特別献金をしています。ご協力下さい。

\*パターソンのSt. Philip伝道と社会福祉団体CUMAC/ECHOの為に。どちらもメソジスト教団に属し、貧しい人達の為の炊き出しと路傍伝道をしています。

連絡先：英語オフィス(201) 391-5499 日本語オフィス兼ファックス (201) 505-0347

吉松牧師 (201) 391-2208 [pastor@umc-japan.org](mailto:pastor@umc-japan.org) 代表役員：松尾孝恵姉 [Takae17A@aol.com](mailto:Takae17A@aol.com)

教会学校担当：吉松 泉姉 [izumi.yoshimatsu@gmail.com](mailto:izumi.yoshimatsu@gmail.com) ホームページ：<http://umc-japan.org>